

ROYAL-TIMES

～ロイヤルホームの新しい生活～



今月のイメージ写真=七夕祭り



3階フロアにて紙芝居動画を上映中の様子(7月14日 15:00頃)

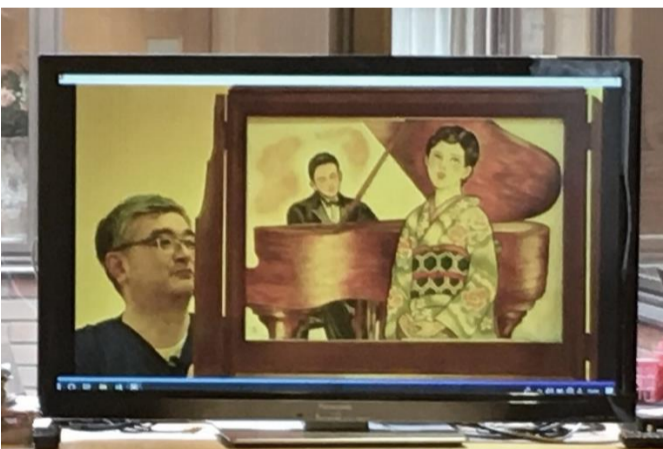
広報紙の刷新

岡 聖史
2020年7月18日

この度、ロイヤルホームサポート委員会広報係はこれまでのロイヤルホーム便りの書式を変更し、より情報量が多く、且つスマートな内容の広報誌に作り替えたいと考えました。この理由には、COVID-19による面会制限があります。

5月より2か月以上、ご家族様とご入居様との距離が遠くなってしまい、不安や心配・寂しさが大きくなっているのではないかと考えました。そこで、この状況下においてもご入居様がホームでどのように生活されているのか、あるいはホームの状況がどのように変わっているのかについて、少しでもお伝えできればと思っております。

今回の第106号からは、スタッフの紹介記事を追加、更に年間行事以外のホームにおけるちょっとした変化、気づきについて話題にしていきたいと考えています。



紙芝居：事前に動画を撮影・編集し作成。パソコンをテレビの画面に映し出し鑑賞していただく

動画をつかった紙芝居

石井太一
2020年7月19日

今年は、梅雨の時期が長引く結果となりました。皆様、体調等は崩されていないでしょうか。去る7月14日、ロイヤルホームでは、動画を用いた紙芝居を上映致しました。国内でも猛威を振るうCOVID-19への対策として、あらかじめ紙芝居を撮影・編集を行いました。各階ラウンジにて、パソコンをテレビに繋げ画面に映像が映し出された瞬間、入居者の皆様は、声に出して喜ばれておりました。

演じるのは、アクティビティ担当の中易宇功介護士です。今回お届けしたのは、「愛染かつら」と言われる、メロドラマです。看護婦と病院の御曹司である医師との恋愛を描

いた名作で、映画やテレビドラマ、舞台にもなり、タイトルを聞くだけで、懐かしそうに思われている様子でした。

各階での小規模開催、ソーシャルディスタンスの確保を行う事で、「密」にならない様に感染対策を徹底しました。

また、動画の紙芝居をより楽しんで頂ける様、参加型の映像にし、演じるスタッフが手を挙げて合図をすると、入居者の皆様は、一斉に拍手をされ盛り上がりが見られました。終始、皆様は動画を真剣にご覧になられ、紙芝居が終わると「もっと観たかった」、「昔を思い出した」「大好きな作品を久しぶりに観られて本当に嬉しかった」とロ々に喜びの感想が聴かれました。

今後も、withコロナを念頭に置きながら、入居者の皆様へのレクリエーション提供及びチームケアに努めてまいります。

今月のトピック

・シジュウカラの巣立ち

・スタッフ紹介

・委員会活動報告(業務委員会)

シジュウカラの巣立ち

岡 聖史
2020年8月3日

4Fの屋上庭園での出来事です。ご入居者様が鳥に餌をあげるようになってから、様々な種類の鳥が姿を現すようになりました。木の枝にフルーツを付け、パンを与え、気が付けば鳥専用の餌台を設置するまでになりました。久しぶりに庭園に散歩に来られたご入居者様は以前よりも鳥が行き交うのを見て驚かれています。

その鳥たちの中に仲のよさそうなシジュウカラが2羽いたそうです。スタッフは何の期待もなく巣箱作り木に括り付けたのですが、驚くことにすぐに巣箱に出入りするようになったそうです。すると、口には葉っぱの切れ端のようなものや木の枝をくわえ出入りするようになりました。巣作りです。

幾日が過ぎ、雛がかえり巣箱からは「ピーッ、ピーッ」と子供たちの声がよく聞こえていました。シジュウカラの出入りが頻回になり、餌を運ぶようになったのです。そして、気が付けばシジュウカラの雛は立派になり6月中旬の早朝に巣立ちました。今でもシジュウカラはロイヤルの屋上庭園に良く遊びに来ているようです。

巣立った後の巣箱を開けると、床には隙間なく、細かい葉っぱや木の枝が敷き詰められ、緑のフカフカなカーペットの様でした。これをみたあるご入居者様は「ほんと綺麗にするのね」と雛の糞はおろか、汚れが一切ない状態に驚かれています。



写真(小) 巣箱から巣立ったシジュウカラ
写真(大) 木の上に設置した巣箱



7月の特別食：タンダーチキングリル野菜添え、サツマイモの甘露煮、茄子とウィンナーのトマト煮、ミカンゼリー、野菜スープ



お知らせ

未だCOVID-19の感染者数は多く、2020年の納涼祭は中止することに決めました。

開設以来続いてきた納涼祭であり、苦渋の決断をいたしました。次回開催できるように、ロイヤルホームも準備を整えてまいります。Withコロナでの納涼祭が可能となるよう努めてまいります。

写真：2017年に開催された納涼祭の様子

スタッフ紹介

2020年7月31日



振り返り

岡 聖史
2020年8月3日

COVID-19は、ロイヤルホームに関わるすべての人に大きな変化をもたらしました。世界各地において外出の自粛規制がなされ、ホームにおいても面会の制限が設けられました。日々面会に来られていたご家族様には、急にやってきた非常を受け入れていただき感謝しております。また、お看取りの段階にもかかわらず、「他のご入居者様に不安感を与えないように」とのご配慮いただいたご家族様、マスクの不足を心配していただき寄付していただいたご家族様、本当にありがとうございました。

ロイヤルホームを運営していくのは私達ですが、ご入居者様とご家族様のご協力や、お互いを思いやる気持ちによって、ロイヤルホームはより安全で安心の住まいになるという事に気づかされました。

委員会活動報告（業務委員会）

田中香織
2020年7月11日

業務委員会では、ホームで使用している尿取りパッドの変更と排泄回数の見直しを行いました。これま

での尿取りパッドでは吸収できる量が少なく、3時間～4時間間隔の交換で対応させていただくことが多い状況でした。日中はこの対応でも可能ですが、夜間となるとご入居者様が眠られている最中に交換の時間が来てしまいます。オムツ交換の度

に目をさますこととなりますので、熟睡の妨げになっていると考えました。そこで、吸収量の多いパッドの導入に至りました。前月よりテスト的に使用させていただき、今月から導入となりました。これにより、ご入居者様の良質の睡眠はもちろんの事、スタッフの業務負担軽減にもつながったと思います。